

## 第4回島田市の花・木・鳥制定委員会 要約会議録

- 1 開催日時 平成26年7月18日（金） 午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 島田市役所 第3委員会室北
- 3 出席者  
委 員 鈴木善彦委員長、菅功副委員長、天野成子委員、伊藤健太郎委員  
大石進哉委員、鈴木安夫委員、鈴木りゑ委員、杉村敏雄委員  
藪崎公士委員、横山富枝委員  
島田市 佐藤秘書課長、松田係長
- 4 内 容 第4回 島田市の花・木・鳥制定委員会  
(1) 開会  
(2) 議事  
鳥の候補について  
絞込みの考え方について  
(3) その他  
今後の日程（スケジュール案）について  
(4) 閉会

### 5 会議の経過の概要

#### (1) 議事

鳥の候補について

配布された資料を参考に、各委員から意見を出していった。

<主な意見等>

(委 員)

- 日本全国の鳥を調べた人もいてウグイス・キジ・メジロなどがベスト10に入っていて静岡県もこれに似ており、メジロやセキレイ、海岸沿いではカモメ、山間部ではウグイスやメジロを市町の鳥としているところが多い。
- 県内市町の鳥などは、住宅街でも公園などでも一般的に見られる鳥が指定されている例が多い。
- 親しみのある名前の鳥などは大抵、鳴き声などを聞いているが、色のきれいな野鳥とかは実際、森林などに入っていかなければいけないし、バードウォッチ以外で鳥の姿を見るところというのは難しい。
- メジロは昔、飼っていた家もあるくらいでよく見かけるが、梅の木に良く停まっているところを見かけることがある。ウグイス色と良く言うが、それはメジロの色でウグイスはもう少し違う色をしている。

- 島田市の代表する鳥としては木と鳥が密接にマッチングできる方が良い。産業との関連も鳥の候補とを考慮していく必要があるのではないかな。
- 名前が知られている、声が日常聞こえてくる。姿を身近に確認できることなどを総称して親しみ易いという選び方がいいのではないかな。
- この土地ならではのこの地域のみで生息するような鳥はいない。静岡県は日本の中央部にあたり、海の海岸端の鳥もいるし、山の鳥も多い。特別な地域の鳥というのは静岡県では見られないが、日本で見られる 600 種類のうち、300 から 400 種類の野鳥が静岡県に生息している。
- 旧島田市の鳥で選定されていたオオルリは大津谷川周辺にも生息し、天徳寺周辺にも居る。文化施設にも名前を残すし、再度、推薦したい。
- オオルリはコバルト色が特徴の野鳥で高い木の、てっぺんで長時間さえずっているところを双眼鏡などでウォッチできる鳥である。渡り鳥の説明にも出たが、9～10 月ごろには赤道直下の方へ帰る。簡単に言えば日本に半分居る鳥であり、日本で繁殖する鳥である。赤道直下の現地でもこのごろは森林伐採、焼き畑など環境の悪化もあり、数が減ってしまっている現状がある。
- オオルリは大津谷川だけでなく大代川の源流、童子沢親水公園から八高山に向かう辺りに居ることが確認されているし、島田市だけでなく藤枝でも生息しており、お茶摘みのころに林で鳴いている。個人的にはウグイスよりも綺麗な声ではないかと思う。
- お茶摘み（新茶）の時期にはホオジロが綺麗な声で鳴く。スズメと区別がつかないくらいの大きさの鳥であるが、尻尾がスズメよりも長く、冬もお茶畑の周辺、木の上で生息していて、新茶の時期にはマッチしているのかなとも思う。家の庭木などでシジュウカラをホオジロと思っている人も居るが、身近に生息している鳥である。
- 鳥にしても花木にしても子どもたちが聞いて見て認識できるものとしたい。
- 伊久身や川口にキャンプ場があるが野外活動などで、市の鳥を見ることができたらいいなと思うし、そういうものを選定してもいいのではないかな。
- 鳥は体温が高いので川遊びで体温を冷やすこともあり、カワセミであったり、サンコウチョウであったり、キセキレイやオオルリなどが川に水遊びに来る。子どもたちが見るとすればそうした種類の鳥ではないかな。
- キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイといえは街なかでも見られる。名前だけで判らなくて目に触れることができる鳥で最も身近な代表的な鳥となればキセキレイなのではないでしょうか。
- 子どもに認識できるような鳥とすればキセキレイも候補になるのではないかな。しかし、キセキレイはどこの市町でも見られるという現状だとすると島田市の代表的な鳥には適切かどうかという考えもある。
- 川べりで見られる鳥としてはカワセミ。大代川とか五和全域で良く見られるポピュラーな鳥である。中央公園などでも観察をする人が居る。川べりなどの杭に停まって、習性はバス停を動くようになわばりを移動し元に戻ってくる。そ

の際に背中などの綺麗な色が見えることがあって、人気があると思われる。

- オオルリは名前は知っているけれど、見たことは無いのが現状。その点は残念である。この時間帯にこの場所でという見方で行かないと野鳥は出会いがない。制定されたならこの場所で見れるという発信の仕方も重要になってくる。
- オオルリは実際の鳥は見たことが無いけれど、旧島田市の鳥として昔から定着していることもあるし、機会があれば是非見てみたいと思っている。
- この資料のなかで自分にとって馴染みがある鳥としてはメジロ、ホオジロ、ヤマガラ。それ以外のオオルリ、カワセミなどは意識して見ていないかもしれない。オオルリなどは建物の名前にもあるが見ていないので実際に居るのかと思ったくらいである。その気になって見る様にしなければ確認できない鳥だと改めて認識した。
- その気になって見ればという認識を多くの市民の皆さんが持ってもらうように選考していきたい。
- 自然が近くにあり、野鳥が見えなくても、近くに居るかもしれないと想像し、他所から人が来るようになったらいい。木の上の方に居てなかなか見られない鳥だから、貴重な鳥として私個人はオオルリを候補にしたい。あまり身近にいと逆にいつでも見れるという気持ちになる気がする。知らない鳥、綺麗な鳥を見たいという好奇心がある。
- キビタキも知人に話をきいたところ、話題に出た。黄色と黒の斑点が綺麗な鳥でオオルリと同じように夏鳥であり、鳴き声なども間違われることがある。
- 現寸大のバードカービングなどを見せてもらったが、羽の一枚、細部に至るまで設計図をもとに作製しており、驚いたし素晴らしかった。制定後でもいいし、そうしたものを飾って周知することを是非行ってもらいたい。
- 通販などではバードカービングを扱っているチラシがある。鳴き声なども出るタイプのものもあるようである。特典でDVD もついているようである。
- 学校などでは昔は巣箱をかけて、鳥の観察などを行ったようであるが、ヤマガラ、シジュウカラが主に利用する。今ではスズメがよく占領してしまっているようである。

#### <まとめ>

鳥の候補として今回、「オオルリ」「ホオジロ」「キセキレイ」「カワセミ」「サンコウチョウ」「キビタキ」などが挙げられた。次回において今回候補の中から委員会としての意見をまとめるものとする。

#### <事務局から>

スケジュール案について次回の制定委員会の内容、パブリックコメントの実施にむけての市当局、議会等への説明、広報等での周知方法を説明した。

さらにパブリックコメント後、庁議に諮り決定していく際の想定スケジュール案について説明を行った。

## 絞込みの考え方について

### <主な意見等>

#### (委員)

- 歴史観や産業と地域性をアピールできるものとして選定していきたい。
- 来年のばらサミットというのも島田市開催であるなら、委員会としてはどう考慮するか要素として捉えたい。
- 市民の関心が散漫になってもいけないし、ひとつの候補に絞っていけないか。
- サクラも花として地域性を考慮して折り合いをつけて送り込むかどうか。
- 地域性もあってふたつ候補案があった方が良いという意見を答申するのであれば、そうしたことも考えていった方が良い。
- 委員会としての意見をまとめていくのは次回8月と捉えていいか。

### <絞込みの考え方>

- ・ 花、木、鳥をひとつの候補案に絞るのか、地域性を考慮したなかで、複数案を可とするかを決定し、候補を選定するものとする。
- ・ 制定に向け、周知を図るための方策も委員会の意見として市当局へ提言していくこととしたい。
- ・ パブリックコメントの時期、庁議等のスケジュールを考慮すると、次回8月に開催する第5回制定委員会で候補案を決めることとしたい。

### (2) その他

- ・ 次回は、8月最終週（27～29日いずれか1日予定）に開催を予定したい。日時を事務局にて調整し、通知は後日、委員の皆さまに改めて送付する。
- ・ 次回議題は「花・木・鳥」の候補についてまとめることで最終検討したい。委員の皆さんは、前回までの議事録等を参考に候補の選定をしてきていただきたい。